



文星芸術大学
附属中学校・高等学校
〒320-0865
宇都宮市陸町1-4
電話(028)
636-8000(中学直通)
636-8585(高校直通)
http://www.bunsei-art.ac.jp
発行 教務部・学報編集係

この夏休み、
できることからやろう!

文星芸術大学附属高等学校教頭 大木 廣 巳



サッカーワールドカップ南アフリカ大会で、日本チームをベスト16に導いた日本代表監督の岡田武史氏が、大会終了後に語った言葉の中に、次のような言葉がある。「本当の意味での強い変革というのは、本人がどうしても変わりたいという思いである。」指導者があればこれ教えるようとしても、選手本人が自分自身を強くしようと変えよう、成長しようとする

する気持ちを持たないと強くなれないし、成長しないということだと思ふ。そのためにはまず、「できることからやる」ということが大切ではないだろうか。不満や愚痴は何の力にもならないのだから、不平不満や愚痴を言わず、「自分が何をすべきか」を考え、できることから取り組んでいくことが大切なことだと思ふ。

そして、夏季特別教育活動期間のように長い期間になると、やればやるほど精神的にも肉体的にも疲れが出てくることだろう。しかしそんな時こそ、そのような苦しさを体験することにも意味があることだと思ふ。

「ああ、もう限界だ!」と感じたとき、本当にそこが限界なのだろうか。苦しさ辛さから逃れようではないのだろうか。あるいは、限界を乗り越えようと最善を尽くしたのだろうか。自分自身で自分に乗り越えられない壁を作ってしまったてはいないだろうか。

生徒諸君!
この夏休み、学習においても部活動においても、できること

最善をつくせ
限界はそこじゃない
才能がとか
運がとかは
二の次

Bの唄
一心不乱
より

文星芸大附now!
は、平成17年4月に「文星芸術大学附属中学校」の開校に合わせて発行されました。

- 1p <巻頭言 大木教頭より>
- 2p <高校 総合学習・総合体験>
- 3p <高校 輝け!文星健児>
- 4p <中学 社会科見学等>
- 5p <中学 学校茶道エッセイ>
- 6p <文星フォトギャラリー>

中学校行事予定

▽七月
20日(金) 第一期終業式
23日(月)・27日(金) 学校開放
23日(月)・25日(水) サマーキャンプ (一年・尾瀬)
24日(火)・26日(木) 福祉体験 (三年・ケアプラザ而令)
▽八月
1日(水)・3日(金) 宿泊研修 (二年・インリンクもてぎ)
20日(月) 全校登校日
20日(月)・24日(金) 夏季講習会
21日(火)・23日(木) 職場体験(二年)
25日(土) 一日体験学習
26日(日) 下野新聞模擬テスト(三年)
28日(火) 第二期始業式
▽九月
11日(火)・14日(金) 修学旅行(三年京都奈良)

高校行事予定

▽七月
20日(金) 第一期終業式
23日(月)・31日(火) 英進 普通 夏季特別授業(前期)
28日(土) 野球応援(一年)
(高校野球準決勝)
29日(日) 野球応援(二・三年) (高校野球決勝)
31日(火) 甲子園出場時全校登校日
▽八月
15日(水)・16日(木) 全統マーク模試(英三年)
16日(木) 企業別推薦選考会議
17日(金) 全校登校日
18日(土) 一日体験学習 (宇河地区以外)
19日(日) 一日体験学習 (宇河地区)
20日(月)・24日(金) 普進 夏季特別授業(後期)
21日(火)・25日(土) 英進 夏季特別授業(後期)
23日(木)・24日(金) 三年就職書類提出(普総)
28日(火) 第一期始業式
▽九月
4日(火) 校内漢字テスト
7日(金) 入試説明会(生徒臨休)
11日(火)・14日(金) 修学旅行(二年沖繩)

高等学校

夏季特別活動 期間の過ごし方



生徒指導副部長
伊藤 均

青年期を迎えた生徒諸君らの心の中には、大人扱いして欲しい自分とまだ子供でいたい自分が同居していると思う。おそらく、頭では理解しているが、心では理解できないところがあるのではないか。

高校生となって時間や活動範囲が広がり、大人と同じ行動をしたいと思うことが出てくるはずだ。が、一歩踏み違えれば大変な問題行動へとつながり、それには責任というものが付いてくるのだ。しかも、現実は大人に頼らなければ解決できない事だらけで、こうした時のブレーキの掛け方を知っているのだろうか。

夏季特別活動期間には、多くの時間が用意されている。この時間を無駄にせず、様々な事にチャレンジをし、

多くの経験と葛藤を繰り返しながら、物事の良し悪しを正しく判断できる自律自らをコントロールした自分を確立して欲しい。それは、君達次第だ。

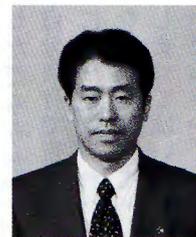


進学指導部長
馬場 義浩

「チャレンジなき進学はリスクを伴う」

進学希望者が増え、進路徒の中には希望や実力伸長というよりも負担の軽さを求める、推薦やAO入試に流れるケースが増えている。早く進路を決めて安心をしたいという気持ちも解らなくはないが、必死に受験勉強することで学ぶことは、今後の人生において役立つことが少なくはない。人から与えられたことは、辛い時や困難に出会った時、それを乗り越える力を生み出すことではない。自らやりたいと思ったことであれば困難も乗り越えられるし、歩みを止めることはないはずである。夏季特活期間中は、部活動や家庭生活の中で自

分の適性を見つめ直し、オープンキャンパスなどへの参加はもろろんのこと、学力を身につけるためにしっかりと努力をして欲しい。

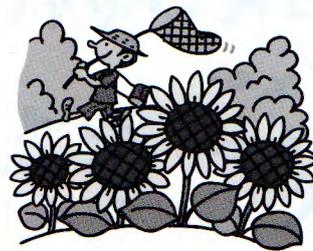


就職指導部長
湊 谷 浩 司

本校では、毎年六月に就職を希望する生徒と個別面談を行っているが、近年は就職難という背景からか、就職に対する意識の高さを感ずる。

しかし、他の学校の生徒も同じ状況下であり、よりハイレベルを求められる就職試験が九月から始まる。よって、この夏季特活期間は夏休みというイメージではなく、まさしく就職活動期間として日々を大切に過ごしてもらいたい。言うまでもなく就職は人生を大きく左右する出来事、それ故に志望先をどこにするか迷い、悩み、相談し、最後は自ら決断しなければならぬ。就職試験まで残された期間は約二ヶ月、その中でどこまで就職を意識し成長できるかが大きなポイントであ

る。就職を希望する生徒諸君は不安が募る毎日であるが、「元気で明るく、やる気」があれば必ず就職は決まると信念を持ち、就職試験に臨んでもらいたい。



総合学習・総合体験

普通科総合コース

《調理》

六月六日七日、三年生調理選択者五十五名は、文星短大での和食実習に参加しました。献立は、「牛カルビ肉卵丼」と「鶏大根煮付け」のボリュームある二品でした。また、調理の基本となる

かつらむきも学び、慣れない包丁使いに悪戦苦闘の様子の子生徒もいました。日常の実習では見られない眼差しがあり、活気に満ち溢れた時間を過ごしました。ご

校内体育大会

六月八日、本校グラウンドにおいて創立記念式典および新入生歓迎体育大会が行われた。式典では理事長、学校長より式辞を頂き、引き続き実施された体育大会では、ドッジボール・バレーボールの二種目が行われ、照りつける太陽の下、熱戦が繰り広げられた。各種目を通して心を一つにし「優勝」という目標に向かい力を尽くした経験は、クラスの団結力をより強いものにしたに違いない。

大会結果

二種目総合

〔優勝〕

- 一年 八組 (普総)
- 二年 七組 (普総)
- 三年 八組 (普総)

〔準優勝〕

- 一年 七組 (普総)
- 二年 一組 (英進)
- 三年 五組 (普総)

〔三位〕

- 一年 九組 (普総)
- 二年 十一組 (総ビ)
- 三年 四組 (普進)

指導いただいた樋山先生は、本校(宇学)卒業生でもあり、在学中のことや和食料理を志した話、職業経験談も交えてわかりやすい説明をいただきました。三年生は昨年二月にも短大実習で指導を頂いたので緊張感の中にも楽しさも含まれた授業となりました。

《総合ビジネス科二年生》

六月二十一日、文星芸大短大において陶芸と調理実習に参加しました。午前中は林先生のご指導のもと陶芸体験をし、生徒は真剣そのものでろくろを回していました。午後は短大で和食実習をし、一年生以来の調理実習で期待感と緊張感で戸惑った様子でしたが、出上がった料理を見てほっとしたようで、美味しく完食しました。

総合体験

《総合ビジネス科三年生》

六月二十二日、茨城県にあるキューピー五霞工場を見学しました。工場内は衛生安全管理が徹底しており、製品ができるまでの工程はとてもスピーディーで、卵

輝け!! 文星健児
部活動報告

七月末から北信越5県で開催される高校総体「2012北信越かがやき総体」の県予選会(以下IH予選)が行われました。その主な結果等をご報告いたします。
※英=英進科(普)=普通科

卓球部

迫田選手個人を制覇し

全国大会出場!

六月八日(金)から十日(日)に行われたIH予選に本校卓球部が出場した。団体は惜しくも4位入賞となったが、個人戦で迫田樹選手(普二年)が決勝に進出。近藤選手(作新学院)を退け、県大会を優勝で飾った。八月一日(水)から長野県で開催される本選においても、文星の、そして県の代表として全力を尽くして欲しい。

テニス部

IH予選団体準優勝

シングル・ダブルス4強

五月二十六日(土)、二十七日(日)、六月二日(土)に行われたIH予選に、本校テニス部が出場した。団体戦決勝、昨年の雪辱

を果たすべく足工大附属と対戦するも、惜しくも準優勝となった。また、シングルで柿沼拓実選手(普一年)、ダブルスで阿久津亮汰(普三年)・竹村健太(英三年)組がベスト4となった。

また、本校テニス部は七月十三日(金)から千葉県で開催される第86回関東ジュニアテニス選手権大会出場も決めている。

《お詫び》前号(30号)4ページで阿久津亮汰選手の字が間違っていました。訂正いたします。

バスケットボール部

IH予選無念の準優勝

六月十八日(土)から開催されたIH予選に本校バスケットボール部が出場。二十六日(日)に行われた決勝戦でライバル宇都宮工業と対戦した。インターハイ出場をかけた意地のぶつかり合いとなったが、惜しくも準優勝となった。

柔道部

IH予選菊地選手準優勝

団体3位入賞

六月十六日(土)に行われた、IH予選個人の部に本

校柔道部が出場。60kg級決勝で本校の菊地璃久選手(普二年)が田中選手(白鷲)と全国大会出場を争い、惜しくも準優勝となった。また、81kg級で薄井智靖選手(普三年)、90kg級で廣澤甲如選手(普二年)が3位入賞、団体戦も3位入賞を果たした。また、本校柔道部は七月十五日(日)に埼玉県で開催される関東ジュニア体重別選手権に駒を進めている。

将棋部

菊地君、悔しい準優勝

七月七日(土)、八日(日)に行われた全国高校将棋竜王戦県予選会に本校将棋部が出場。決勝戦、本校の菊地優志君(英二年)は、高嶋君(宇都宮南)と全国大会出場を争ったが、惜しくも準優勝となった。

珠算部

団体の部、準優勝!

六月二日(土)に開催された第59回全国高校珠算電卓競技大会県予選会で、本校珠算部が電卓団体の部で見事準優勝を果たした。チーム全員が二年生で、厳しい練習と合宿の成果が現れた結果となった。

関東大会の主な結果

バスケットボール

関東高校バスケットボール大会
ベスト8

テニス

関東高校テニス大会
2回戦進出

卓球

第62回関東高等学校卓球大会
1回戦敗退

将棋

第62回関東高等学校将棋大会
1回戦敗退

柔道

第60回関東高等学校柔道大会
2回戦進出

剣道

第59回関東高等学校剣道大会
予選リーグ敗退

陸上競技

戸野塚洗紀 1回戦敗退

砲丸投げ

田代 美砂希 37.199
安達 卓也 37.05

バレーボール

田代 美砂希 12.02
安達 卓也 11.45

激闘!! 甲子園県予選

第94回全国高校野球選手権栃木大会が七月十四日(土)に開幕しました。県内の強豪校との激闘を、ぜひ球場で応援しよう!



一年生応援日

準決勝 七月二十八日(土)
11時30分試合開始

二・三年生応援日

決勝戦 七月二十九日(日)
10時試合開始

高校国際弁論大会

高橋君大健闘

六月十四日(木)、県立博物館にて、国際協力などをテーマに高校生が英語でスピーチする「第32回国際理解英語弁論大会」が開催された。本校の高橋英統君(英一年)は帰国子女や留学経験者といったライバルを抑え、4位、7位入賞に当てる努力賞を獲得した。

検定試験取得状況
(七月現在)

第74回全商簿記検定

【二級】 池田 友則 吉池 研雄
【一級会計】 諏訪 雅幸

【二級】

内田 大貴 鈴木 直人
御堂進ノ介 渡邊 伸将
渡邊 勇磨 大方 海
岡嶋 一輝 栗田 慧
小池 佑斗 近藤 将太
栃木 哉輝 中野 壮士
吉成 敦 六川 史晃

第46回全商ワープロ検定

【二級】 加藤 大夢 菅沼 啓介
岡嶋 一輝 近藤 将太
市村 拓也 内田 大貴
海老原佑基 大内 悠也
渡邊 伸将 渡邊 勇磨

【三級】

服部 真吾 藤川 元氣
金田 尚大 津田 清樹
齋藤 陽介 福田 昂平
沼尾 裕文 前田 瞬
渡辺 歩 池田 友則
市村 大貴 今埜 大樹
島田 天佑 諏訪 雅幸
御堂進ノ介

第124回全商電卓検定

【二級】 紙本 有康 栗田 慧
小池 佑斗 近藤 将太
栃木 哉輝 中野 壮士
吉成 敦

【一級普通計算部門】

沼尾 裕文 福田 昂平
渡邊 勇磨

中学校

夏期特別教育活動 期間中の過ごし方



校長 山本 誠
生徒指導部長

夏期特別教育活動期間(夏休み)は、38日間に渡る長い休みですが過ごし方ひとつで、楽しい夏休みになったり、つまらない夏休みになったりします。より良い夏休みにするために自主的に計画を立案し、成果が上げられるようにしてもらいたいと思います。また、生徒諸君一人ひとりが、第二学期始業式に全員無事に元気で登校できるようにしてほしいです。そのために、私からいくつかの留意点を述べさせていただきます。

一つ目は、自分の計画をきちんと立て、計画表を作成してください。最優先する学校行事を把握し、それから家族旅行の予定、学習計画などを立てることが良

いでしょう。特に、課題は早めに終わらせることが大切です。

二つ目は、問題行動や事件などに遭わない、巻き込まれないということ。夏休みは様々な誘惑に陥りやすい時期でもあります。軽率な行動を慎み、本校の生徒としての自覚を持って行動してほしいと思います。また、携帯電話等のトラブルも非常に多くなっています。夏休み中は開放的になりがちですので、十二分に気をつけて使用するように心がけてください。

三つ目は、夏休みの長い期間、学校から離れて家庭中心の生活をするわけですから、家族とのコミュニケーションを十分にとつてほしいと思います。外出をする際には、必ず行き先や帰宅時間、誰と行くのかなどをきちんと家族に伝えるようにして下さい。

この三つのことに留意し、有意義な夏休みであったと言えるようにして下さい。夏休みを通して、一回り大きく、たくましくなった生徒諸君に会えることを楽しみにしています。

社会科見学

中学校では、六月八日(金)の創立記念式典終了後に、社会科学見学として足尾銅山と富弘美術館へ行ってきました。事前学習もしっかりしていたので、たくさんの方を学べたのではないでしょう。

足尾銅山では、トロロッコに乗って坑内見学をしたり、資料館見学などを通して、その歴史を学びました。江戸時代の手彫りの様子など、約四百年の歴史がろう人形などで再現されていて、少しひんやりした坑内で独特の雰囲気を感じました。

富弘美術館では、星野富弘さんの生き方や想いに、皆、心動かされたようです。人それぞれ、感動した絵や詩は違うと思いますが、今回学んだことを、今後の生活に生かしてくれることを期待しています。



富弘美術館の前には大きな湖が...

体育祭

六月十六日(土)に、本校初めての試みとなる、体育祭が行われました。

当日は、雨天に見舞われてしまい、当初予定していた種目は行えませんでした。が、体育館で保護者を交えてドッチボールを行いました。

ドッチボールは、白熱した試合を繰り広げ、各クラスの団結も深まったことと思います。

優勝 三年一組・保護者
準優勝 二年二組
三位 一年一組



優勝した3年生



円陣で気合

ボランティア実践

六月二十三日(土)にボランティア実践が行われました。当初予定していた中央公園の清掃活動は、雨天のため中止となり、以前から生徒会が中心となつて集めていたペットボトルのキャップを洗い、数を数えるという活動を行いました。

合計で、一万八千五百二十六個のキャップを集めることができました。後日宇都宮市の回収場所に生徒会長の田崎君と副会長の齋藤君が届けに行きました。

このペットボトルのキャップは、約八百個で一つのワクチンとなります。今回の活動では、約二十三人分のワクチンに相当します。これからもこの活動は継続していきますので、ご協力お願いします。



キャップの数を数える様子

部活動情報

将棋部 東日本大会出場

将棋部は、六月十七日(日)に行われた、中学校将棋団体戦において見事優勝し、東日本大会への出場をきめました。本選での活躍を期待しています。

優勝メンバー

三年一組 岡本 一仁
二年一組 原田 拓
二年一組 神永慶一郎

県大会出場おめでとう

六月二十六日(火)に行われた、宇河地区水泳大会において、三名が標準記録を突破し、県大会出場を決めました。

一年一組 安達 瑛大
100m平泳ぎ(二位)
200m平泳ぎ(二位)

二年一組 中村 峻輔
100m自由形(三位)
400m自由形(二位)

二年一組 神永慶一郎
50m自由形

宇河地区総体始まる

七月十五日(日)から、三年生は最後の大会が始まります。二年間の成果を存分に発揮して下さい。

学校茶道エッセイ

本校の山本萌絵さんが茶道裏千家淡交会主催の「学校茶道エッセイ」で優秀賞(二位)を受賞しました。

「一服のお茶から」

山本 萌絵

一服のお茶から、私の一日は始まる。自分が飲むお茶ではなく、亡き祖母のためのお茶である。

物心ついたときから、私の周りには「お茶」があった。お茶を栽培している家に育ったという祖父、茶道を学んだという祖母そして母。毎食後のお茶はもちろん、節句やお祝いやらには、それに合ったお菓子とお茶が当たり前だった。

いわゆる「茶道」を習い始めたのは六才の頃である。お茶好きの兄にくっついて、母も通っていた先生の所に行くことになった。手入れの行き届いたお庭の茶室は、子供ながらに別世界で、憧れの場所であった。しゃかしゃかとかすかな音を立ててお茶を点てるのは、何やら魔法のようで、夢中になったことを覚えている。

はき物の揃え方、部屋への入り方、畳の歩き方は家で家族から言われている

ことであり、何の違和感もなかったのだが、実は大切なお稽古だったことを知ったのは、小学校も中学年を過ぎた頃だったかと思う。「お茶の心と言っても、日本人には当たり前のことなのよ。」

ある日、床の間の花を直しながら母が言った。床の間には祖父が時々掛け替える軸。あるのが当たり前だと思いつかなくて。茶道の時間に学んでいるたかさんのことが、実は、身の回りに息づいていることなのだ。逆に、日本人の生き方を集大成したものが、茶道なのではないかと思う。

かすかな水の音に耳を傾ける。自然の息づかいを樂しむ庭。庭木を吹き抜けてくる風は、この猛暑さえも和らげてくれる気がする。打ち水をし、庭を掃き、人を迎えること。時々合った軸をかけ、花を生け、お菓子をいただく。相手を選び、部屋を整え、器を選ぶ一つ一つに、日本の心が生きていくと思う。

以前、テレビ番組で、イギリスのアフタヌーンティーと日本の茶道を比較していたが、外国の方からすると、日本のお茶は作法がややこしいらしい。確かに、一服のお茶を出すまでに、たくさ

んの準備があり、お茶を点てるのにも細かい作法がある。けれど、その一つ一つには、きちんと意味があり、無駄が無いのだ。見えない所にこそ気をつかうこと、一つ一つのことを心をこめること。これこそ茶の心、日本の心なのではないかと思う。便利さが優先され西洋化していく中、日本の心を伝える場面は減ってきたのかもしれない。便利さの前には「どうでもよいこと」だと言っている。実際、言われてもよくわからないこともある。正直、面倒くさいと思ってしまう事も……。

しかし、お茶の稽古を通して学んでいくと、「面倒くさい」「どうでもよい」というかすかなことをさりげなくやっていると、美しくいと気づけるようになってきた。お箸の持ち方さえ、「あつ、この人の持ち方はきれいだ。やってみよう。真似しよう。」と思う。普段は「まっいいか」と思ったり、気にもとめなかったりすることもあるが、稽古の時に、ほんの少し立ち止まる機会があることは、何だか嬉しい。叔母がお茶を始めてしばらくしたところ、祖母から「お前の動き、やっとな間らしくなったね。」と言われて、家族中大笑したのだそう

だ。「人間らしく」という言葉に皆びつくりしたらしいが、共にお茶を始めていた母も、お転婆だった妹の変わりようを喜んだという。お茶を通して、日本人の心を学ぶことができ、とても幸せである。そして、日本人の心も大切に教えてくれた祖母、家族にも感謝している。

幼い頃は、祖母が母のために縫った七五三の着物を着て茶会に出た。十三詣は母の着物を肩上げして着た。祖母から母へ、母から私へと、日本の心は伝えられて

いる。物を通して、茶道を通して気づくことが多いが、日常の中にたくさん伝説があるのだと思う。

今年、祖父の初盆だった。それこそたかさんのしきたりがあり、大忙しだった。その一つ一つを、祖母を想いながら準備する家族の姿は、相手を想い一服のお茶を点てる茶道の心そのものであったと思う。お客様の中には、「今どきこんなに立派にお盆さんしてあげる家は少ないよ。がんばったね。」と言ってくださる方もいた。大変でも、面倒でも、忘れてはいけない、大切なことは、大切なこと。確かにあるのだと思う。

精霊棚に、いつものようにお茶をお供えた。たった一服のお茶ではあるが、そこには、祖父への感謝と、今まで学んできたことの積み重ねと、これからの頑張るぞという想いがまつている。

一服のお茶を満足に入られることのできる、満ち足りた人になるために、これからも心を磨き、たくさんのことを学んでいきたい。

文星散歩道

(題字 大木教頭)

20

「尾瀬」

横山恵子 (国語科)

一年生のサマーキャンプの下見で尾瀬に行くことになった。尾瀬といえど湿原と水芭蕉ぐらゐの知識しかなかった私だが、サマーキャンプの引率が決まったことで知ったことがたくさんある。まず、携帯電話が全く使えないこと。(衛星電話というものがあることを初めて知った)また、環境保全のためシャンプー・リンス類、石鹸、歯磨き粉は禁止。トイレもチップ制(募金制)

の有料トイレ。シーズンや山小屋によっては、風呂で使える湯の量も決められている。そこまでの不便さを強いられながら多くの人々が尾瀬を訪れるのはなぜなのか。

下見第一日目の行程を終えて山小屋の一室に入った(レトロである)あくまでもここは、山小屋であつて旅館ではないことを生徒によく言っかけて聞かせねば……などと考えながら窓の外に目を向ける。部屋の窓から尾

瀬ヶ原が一望できる。至仏山(しぶつさん)をバックに白、朱、黄、紫……色とりどりの花々が点在する湿原を、取水林と呼ばれる林が川の流れに沿って横切り、ひとすじの木道がその中に消えていく。霧が流れてきた。時間が止まる……。ああ、これなのだひとりと納得した。体の疲れも不便さもそんなことはどうでもいいと思ってしまう。静かで清浄な世界がそこには広がっていた。

文星フォトギャラリー



高校／新入生歓迎体育大会



高校／総合コース・総合ビジネス科



中学校／ボランティア実践

学校／社会科見学

中学校／体育祭



高校／園芸部活動